



防火部材 タイカブラック®

ブロック

壁・床兼用

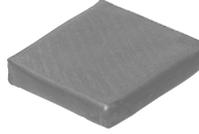
〈取扱説明書〉

品番(梱包品)一覧&適用

品番	開口面積	標準開口寸法(幅×高さ)	付属品(入数)		
			ブロック	ブロック(ハーフ)	パテ
MTKS-BK004	~0.04m ²	200×200mm	8	4	10
MTKS-BK006	0.04~0.06m ²	300×200mm	11	6	10
MTKS-BK008	0.06~0.08m ²	400×200mm	14	8	20
MTKS-BK010	0.08~0.10m ²	500×200mm	18	10	20
MTKS-BK012	0.10~0.12m ²	600×200mm	21	12	20
MTKS-BK014	0.12~0.14m ²	700×200mm	25	14	30
MTKS-BK016	0.14~0.16m ²	800×200mm	28	16	30
MTKS-BK018	0.16~0.18m ²	900×200mm	32	18	30
MTKS-BK020	0.18~0.20m ²	1000×200mm	35	20	40
MTKS-BK022	0.20~0.22m ²	1100×200mm	39	22	40
MTKS-BK024	0.22~0.24m ²	1200×200mm	42	24	40

梱包品

※下記の梱包品が上表の梱包内容(数)通りかご確認の上で使用ください。
(梱包品に誤りがあった場合は、お買い上げの販売店又は最寄りの当社営業所までご連絡ください。)

<p>●ブロック</p>  <p>品番：MTKS-B</p>	<p>●ブロック(ハーフ)</p>  <p>品番：MTKS-B-H</p>	<p>●パテ</p>  <p>品番：MTKS-GP2003</p>	<p>●認定シール</p> <p>.....1枚</p> <p>※認定シールは、国土交通大臣認定を取得していることを表示するシールです。(工法表示ラベル)</p>
---	--	---	---

別途必要

- 中空壁、片面壁の場合は「L金具」が必要となります。
- 床の場合は「ブロック(角穴)用金具(MTKS-BZK○○○)」が必要となります。

国土交通大臣認定書の仕様に基づき、正しく施工してください。
(注)製品のご使用は、所轄行政機関にご確認ください。

施工要領：壁の場合

**確認
施工**

【片面壁の場合】

- アルミ製ラック使用
 - ミラメッシュ使用
- 所轄行政機関にご確認ください。

○準備 ●壁の開口部にケーブルラック、ケーブル、配管を施工します。

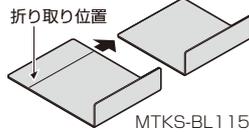
- ケーブル、配管を施工するにあたり、できるだけ平らになる様に並べていく方が充填材の施工がし易く、隙間が少なく施工できます。

①L金具の剥離紙を剥がし、開口部に沿って端より隙間なく貼り付けます。

- 貼り付け箇所が、L金具の幅よりも短い場合は、L金具同士重ねて貼ってください。

- 中空壁100mmの場合は、L金具(MTKS-BL100)を使用し、中空壁115mm以下の場合は、L金具(MTKS-BL115)を使用します。

- L金具(MTKS-BL115)を使用の場合、長さ100mmで折り取り又は、折り曲げる事ができます。(壁厚100mmの場合には折り取って使用すると壁からの飛び出しがありません。)



※中空壁厚が115mmを超える場合は、MTKS-BL150・BL200をご使用ください。

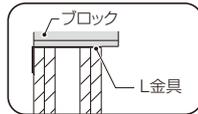
- 片面壁の場合は、開口下側のみL金具が必要になります。

- コンクリート、ALC壁の場合にはL金具を使用しません。

- 片面壁は下側のみL金具が必要になります。

- L金具の代わりに軽量鉄骨でもご使用いただけます。

中空壁：開口補強(全周)



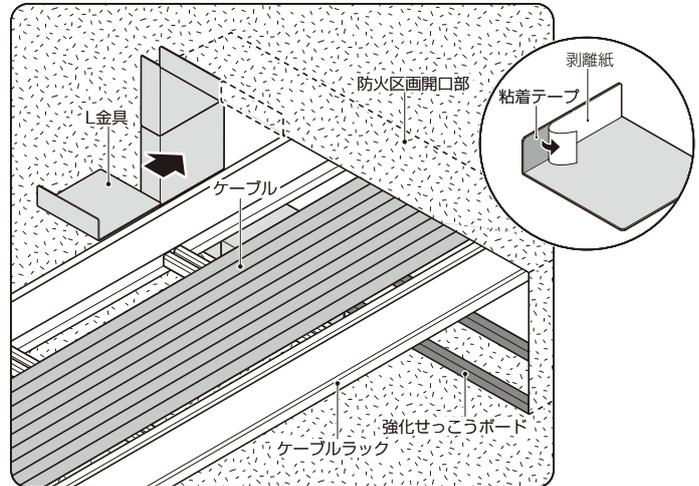
又は



片面壁：ブロック受け材(開口下側のみ)



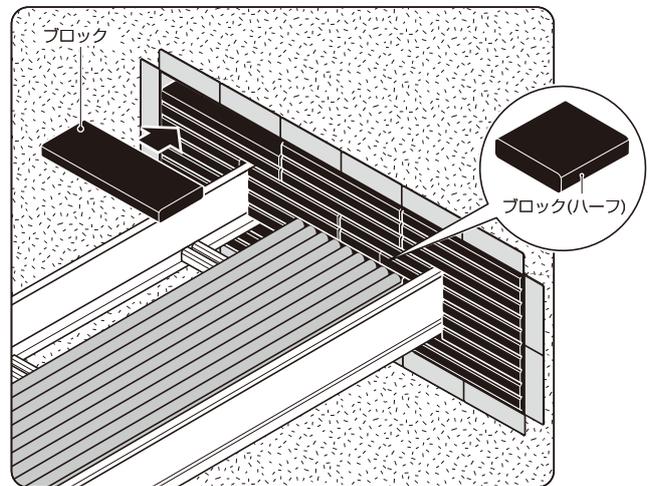
又は



②開口部とケーブル・配管等の隙間にブロックを挿入します。

- 開口部の端よりブロックを隙間なく挿入します。ブロックとブロック(ハーフ)を上手に組み合わせてご使用ください。
- ※挿入しにくい場合は、ブロックの表面にシリコン潤滑材を塗布して挿入します。

- ブロック、パテが不足する場合は、別売のブロック(MTKS-B)、ブロック(ハーフ)(MTKS-B-H)、パテ(MTKS-GP2003)をご使用ください。



③ケーブル・配管とブロックとの隙間にパテを充填します。

- 隙間のない様密に充填します。

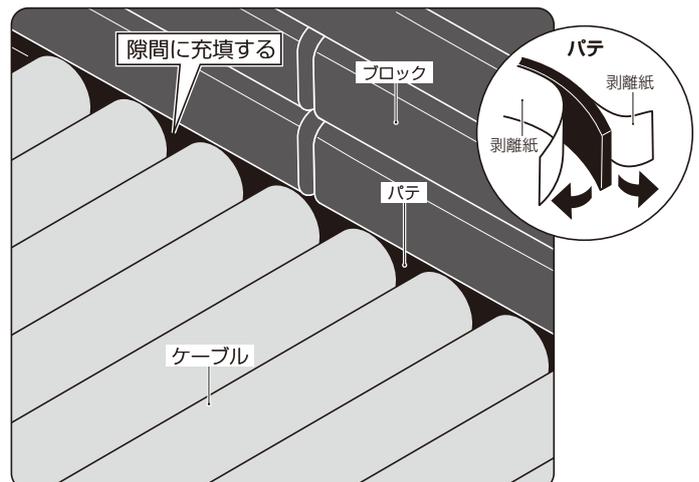
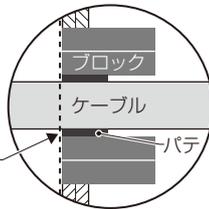
- ブロック相互及び開口部等、隙間のある箇所にはパテを充填してください。

- ※パテはブロックが入らない隙間にだけ使用してください。
- ※パテが壁面からはみ出したり、ブロック表面に貼り付けられた状態だと剥がれて落下する恐れがあります。

- パテを詰め易い大きさにカットします。

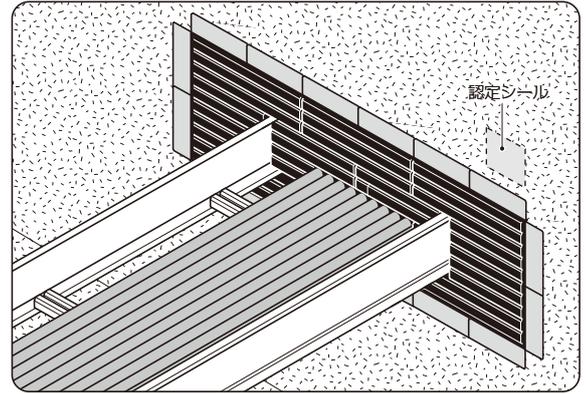


パテが面からはみ出さないように施工してください。



④認定シールを施工箇所に貼ってください。

- 認定シールは、目視できる位置に貼ってください。



〈ご注意〉

施工要領とは異なる施工、変則的な施工をやむをえず実施するする場合、又、ご不明な点がある場合は当社営業管理課にお問い合わせください。

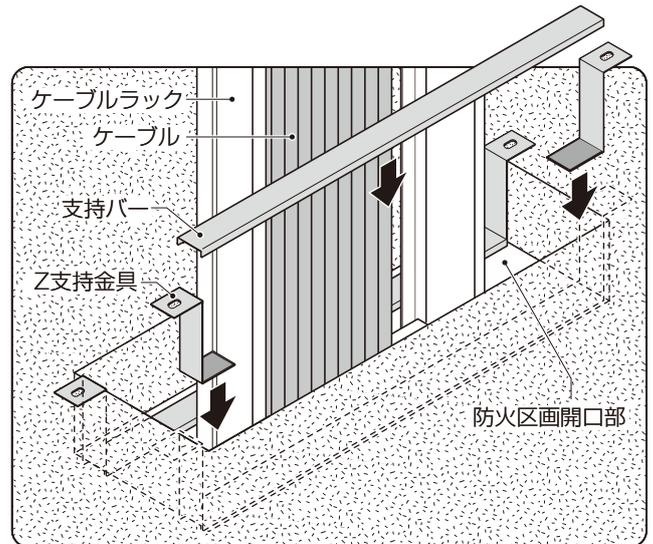
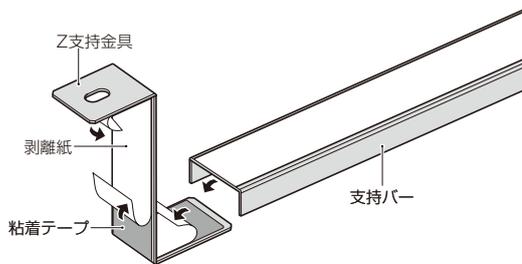
施工要領：床の場合

○準備 ●床の開口部にケーブルラック、ケーブル、配管を施工します。

- ケーブル、配管を施工するにあたり、できるだけ平らになる様に並べていく方が充填材の施工がし易く、隙間が少なく施工できます。

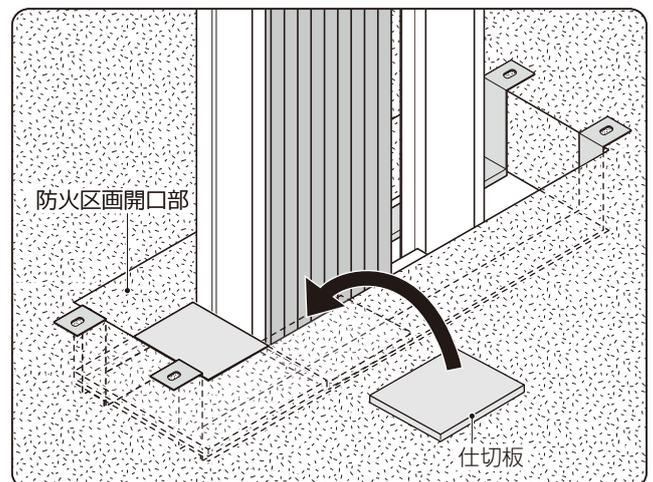
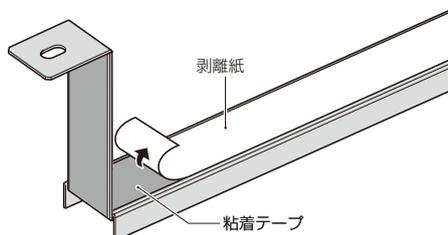
①開口部にZ支持金具、支持バーを取り付けます。

- Z支持金具を躯体に貼り付けます。
 - 支持バーをZ支持金具に貼り付けます。
- Z支持金具は躯体にアンカーで固定することもできます。



②支持バーに仕切板を貼り付けます。

- 開口寸法よりも短い辺の仕切板をブロックが落下しない様に支持バーに貼り付けます。
- 仕切板は開口部とケーブル・配管の距離に合わせ直線で切断します。(ケーブル・配管外形に合わせて切る必要はありません。)
- 仕切板が1枚の場合、はさみ・カッターで、2枚以上の場合電動のこぎり等で切断します。
- 仕切板とケーブル・配管の隙間は、ブロックが落下しない20mm以下とします。

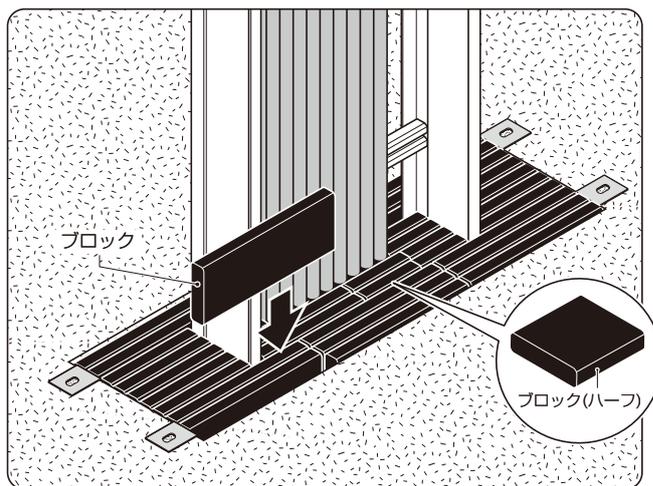


③開口部とケーブル・配管等の隙間にブロックを挿入します。

- 開口部の端よりブロックを隙間なく挿入します。ブロックとブロック(ハーフ)を上手に組み合わせてご使用ください。

※挿入しにくい場合は、ブロックの表面にシリコン潤滑材を塗布して挿入します。

- ブロック、パテが不足する場合は、別売のブロック(MTKS-B)、ブロック(ハーフ)(MTKS-B-H)、パテ(MTKS-GP2003)をご使用ください。



④ケーブル・配管とブロックとの隙間にパテを充填します。

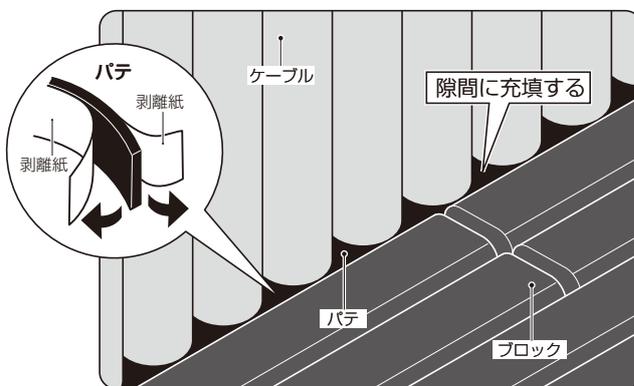
- 隙間のない様密に充填します。

- ブロック相互及び開口部等、隙間のある箇所にはパテを充填してください。

※パテはブロックが入らない隙間にだけ使用してください。

※パテが床面からはみ出したり、ブロック表面に貼り付けられた状態だと剥がれて落下する恐れがあります。

- パテを詰め易い大きさにカットします。



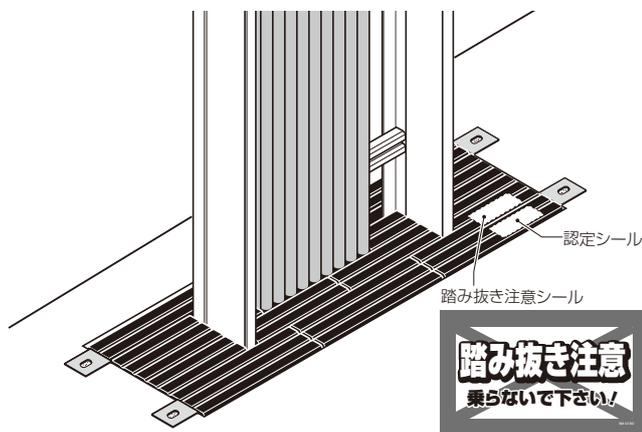
⑤ブロック等に、金具セット同梱の踏み抜き注意シールを貼ってください。

- シールを貼る前に、Z支持金具の固定が確実であるか、ブロックの充填もれがないか等、施工の確認を行ってください。

※不具合がある場合は、手直しを行ってください。

⑥認定シールを施工箇所貼って下さい。

- 認定シールは、目視できる位置に貼ってください。



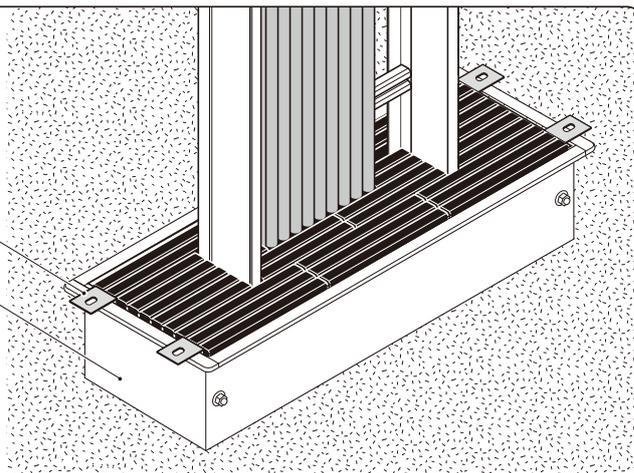
〈ご注意〉

この取扱説明書とは異なる施工、変則的な施工をやむをえず実施する場合、又、ご不明な点がある場合は当社営業管理課にお問い合わせください。

●床用鋼製スリーブありの場合

- 床用鋼製スリーブにZ金具を取り付けます。

Z支持金具
床用鋼製スリーブ

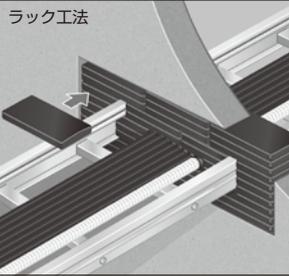


標準施工例(抜粋)

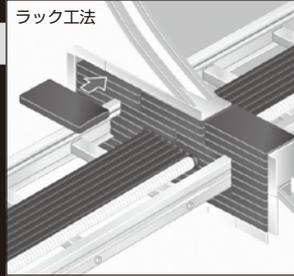
壁

電気用

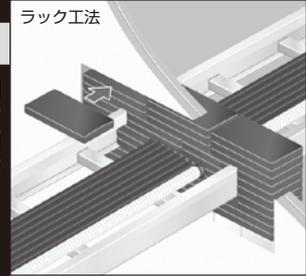
■壁



■中空壁



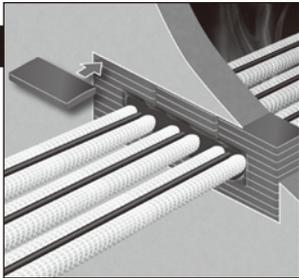
■片面壁



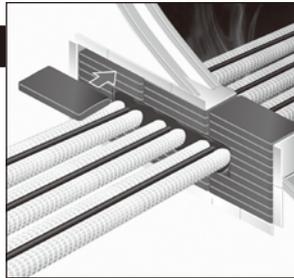
※ラックなし工法、
床置き工法も
できます。

空調用

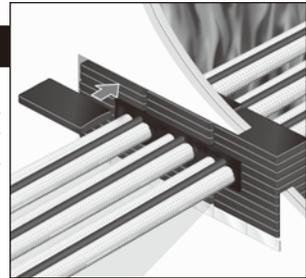
■壁



■中空壁



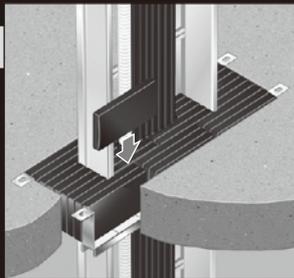
■片面壁



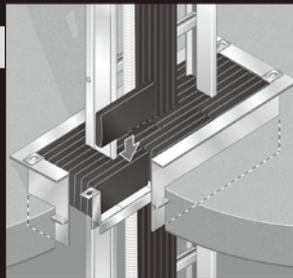
床

電気用

■鋼製スリーブなし



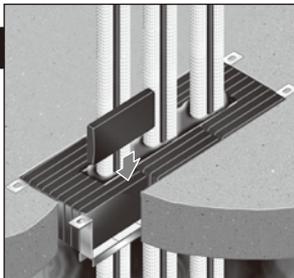
■鋼製スリーブあり



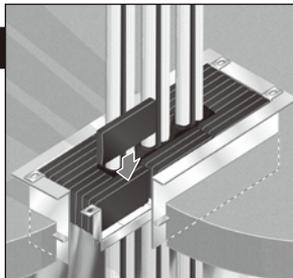
※ラックなし工法
もできます。

空調用

■鋼製スリーブなし



■鋼製スリーブあり



<p>⚠ 警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「国土交通大臣認定書」の仕様に基づき、正しく施工してください。 ●ケーブル等は火災時に過大な荷重がかかり、壁・床を損傷することがないように固定してください。 ※正しい施工を行わないと火災時に延焼の恐れがあります。 ●ケーブルラックの上には作業中でも絶対に乗らないでください。※ラックが折れる等、落下の恐れがあります。 ●施工した防火部材の上に乗らないでください。※開口部を破壊して転落したり、すき間が生じて火災時に延焼の恐れがあります。
<p>⚠ 注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●以下の事項を守らない場合、人体に影響を及ぼす恐れがあります。 <p>(ブロック・パテ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ブロック・パテが皮膚に付着した場合は必要に応じて触れた箇所を石鹼等で洗浄してください。(人体への特別な影響が必ずあるわけではありません。) ●ブロック・パテが目に入った場合は、真水で数分間洗浄し、傷がある場合や刺激を感じる場合等、必要に応じて医師の手当てを受けてください。 ●ブロック・パテを誤って飲み込んだ場合は、真水でよく口を洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受けてください。 ●作業時は保護手袋等、安全な服装を着用し行ってください。 ●作業場では火気を使用しないでください。 ●作業後は必ず手洗い、うがいを行ってください。(特に喫煙、飲食前には必ず行ってください。) <p>(ブロック内耐火材)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ブロック内の耐火材には発がん性のあるリフラクトリーセラミックファイバーを使用しています。万一ブロック内耐火材が露出した場合はSDS(安全データシート)に従って対応してください。 ※SDSは別途ご用意しておりますのでお問い合わせください。 ●ブロック内耐火材の拡散を防止するために、ブロックを切断しないでください。 ●ブロック内耐火材が目に入った場合は、異物感が無くなるまで流水で洗浄してください。目は擦らないでください。 ●ブロック内耐火材が皮膚に付着した場合は、水またはぬるま湯で洗浄した後、石鹼でよく洗ってください。痛みが残る等、何かしらの症状がある場合は医師の診察を受けてください。 ●ブロック内耐火材を取り扱う際は防塵マスクを着用し、必要に応じて局所排気装置・除じん装置をご使用ください。 ●ブロック内耐火材が作業着に付着した場合は、超高性能エアフィルタ(HEPA)付き掃除機または粘着テープ等で飛散に留意しながら取り除いてください。 ●作業場は禁煙にしてください。 ●作業後は必ず手洗い、うがいを行ってください。 <p>(補強部材)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●作業時は保護手袋等、安全な服装を着用し行ってください。

- 〈施工・保管の注意〉**
- ご使用の際には、所轄の行政機関にご確認ください。
 - 架橋ポリエチレン管、ポリブテン管・ガスフレキ管を直で配管はできません。さや管、被覆付等で配管してください。
 - 施工を行なう前に開口部周辺及び、貫通するケーブル等を掃除してください。
 - ブロック・パテは冷暗所に保管し、直射日光、高温、水濡れを避けてください。また、可燃物付近に保管しないでください。
 - 高所での作業は、落下防止対策を実施して作業してください。

〈ご注意〉

この取扱説明書とは異なる施工、変則的な施工をやむをえず実施する場合、又、ご不明な点がある場合は当社営業管理課にお問い合わせください。

〒503-0201 岐阜県安八郡輪之内町楡保1695-1 未来工業(株)営業管理課
TEL : (0584)68-0008(代) FAX : (0584)69-4282
Eメール mirai@mirai.co.jp